

～市民と農業者をつなぐ  
武蔵野市農業委員会だより～

むさし



第20号 令和5年4月  
編集・発行 武蔵野市農業委員会  
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28  
Tel 0422-60-1833 (直通)  
Fax 0422-51-9408 (直通)

## 3年ぶりの農産物品評会



11月12日・13日に都立武蔵野中央公園で農産物品評会を開催しました。今年度は、会場の変更、出品規格や賞の配分等の見直しを行い、前回の488点を上回る651点もの農産物が出品されました。

農業者が手間をかけて生産した作物は、12日に都の普及指導員によって審査され、「武蔵野市の農産物は秀逸なものが多く、生産者の技術力が高い」との評価をいただきました。

13日には、一般の方向けに展示及び販売を行い、隣ではCO+LAB MUSASHINO（コラボむさしの）のイベントも開催され、たくさんの人で賑わいました。

武蔵野市長賞	田中 恒男 (吉祥寺)	青首大根
武蔵野市 農業委員長賞	後藤 直久 (境西部)	ニンジン
東京むさし 農業協同組合長賞	竹内 昭博 (境南部)	柿
優良農地表彰 (企業的部門)	田中裕志・宏茂 (吉祥寺)	—
優良農地表彰 (都市型部門)	宮崎フミ子・清 (境西部)	—
最優秀農家賞	後藤 直久 (境西部)	—

(敬称略)

# 農家見学会



令和2年度から形を変えた農家見学会は、今年で3回目を迎えました。今年度は、12月3日に市内3カ所で開催しました。今回は、定員60組のところ265組からの応募があり、引き続き人気のイベントであることが伺えました。

アンケートでは、「収穫体験が楽しかった」、「野菜の洗いや皮むき等の実際の作業や機械を見ることができた」、「うどの根株とうど室（むろ）を見られた」、「土の匂いを感じられた」等といった畑での体験ならではのコメントが多く寄せられました。中には「もっと収穫したかった」という声も。

このイベントを通じて、体験だけでなく、地産地消の大切さも伝えることができました。

## フレッシュサラダ作戦



11月13日・29日・12月6日に行われた市内産農産物の直売会は、多くの方で賑わいました。

市内産農産物を食べてリピーターになってもらうことが、地産地消に繋がります。

来年度もぜひお越しください！

## 農地パトロール



農業委員会では農地がしっかり管理、耕作されているかを確認するために、年1回農地パトロールを実施しています。

今年度は特によく肥培管理をされている畑を30a以上・未満の2部門に分け、2農家が優良農地表彰を受賞されました。

# 農業 New Face



▲親子で耕うん作業

清水 茂さんの三女、もとみさん。  
幼少期より父の背中を見て育ったもとみさんは、「今後の後継者のことを考え、父と協力して農業を続けていこうと思った」ときっかけを話してくれました。

見て、聞いて、父の行動を見よう見まねで習得！  
茂さん曰く「今はもとみが中心となり作業が成り立っている」と最高の誉め言葉を投げかけてくれました。

「父が続けてきた対面販売にこだわり、人との触れ合いを大事にしていきたい」、「女性農業者として情報交換・賛同・協力の輪を広げていきたい」と抱負を話してくれました。

農閑期は、介護の仕事にも携わっているそうです。明るくて笑顔が素敵な方でした。



## 令和4年度に表彰されたみなさま

おめでとうございます！



第62回企業的農業経営顕彰	榎本吉恭・幸子 (西窪)
令和4年度農業委員会等功労者表彰状	榎本一宏 (関前) 榎本英明 (西窪)
令和4年度農業功労者感謝状	大坂新一 (関前)
令和4年度新規就業者奨励賞	清水もとみ (境西部) 鈴木茜
令和4年度北多摩地区優秀農業経営者表彰	下田誠一 (境東部)

(敬称略)

## 武蔵野市東京うど組合品評会



最優秀賞	東京都知事賞	後藤 正昭 (境東部)
優秀賞	武蔵野市長賞	田中 武徳 (吉祥寺)
	武蔵野市議会議長賞	高橋 宏通 (境東部)
	武蔵野市農業委員会会長賞	後藤 正昭 (境東部)
	東京むさし農業協同組合長賞	後藤 正昭 (境東部)

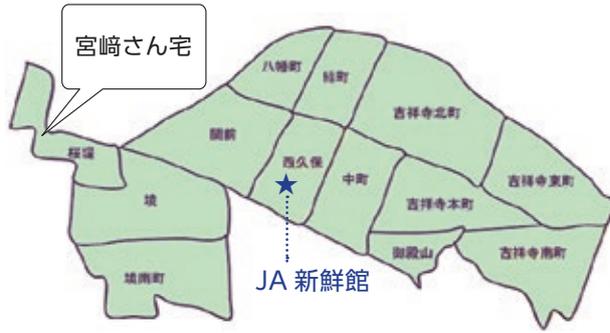
(敬称略)

# 「新鮮で安全・安心な野菜はすぐそばに」 生産者の笑顔



実(みのり)さん

武蔵野市内で活躍する農家の方々をご紹介します。



豊(ゆたか)さん

## 宮崎フミ子さん・清さん（桜堤2丁目在住）



この度、優良農地で表彰された宮崎フミ子さん親子。

20才で農家に嫁いで以来68年。40年前には、病気がちの夫に代わって運転免許も取得され、農業を支えてきたフミ子さん。

「一生懸命やってきたので、受賞できて嬉しいです」と語る笑顔の中に、強い信念と努力の跡が伺えます。

父の代から続く果樹栽培では、グランドレモンが自慢です。

「自然（災害）に負けない花を！」

とクリスマスローズの育成にも挑戦。夏はグラジオラス、冬は菊、春を告げる矢車草も出荷真近です。

4年前、ご主人の後を継いだ息子の清さんは「思ったより重労働ですが、大事な農地をなくさない様、お客様の喜ぶ顔を思い浮かべて頑張ります」と新たな挑戦への意欲を語ってくれました。

## 総務委員との意見交換会・市長との懇談会



▲ 11月29日  
総務委員との意見交換会



▲ 12月27日  
市長との懇談会

農業委員会では、年に1回、市や議会と情報交換等をする場を設けています。

意見交換の場では、給食への市内産野菜の普及拡大、相続税対応、フードロス対策等が話題に上がりました。

市長・総務委員からは、今後も武蔵野市の農業を発展・継続させていくために、農業委員会と協力していきたいとのお話をいただきました。

## 編集後記

令和4年11月12日・13日に、農産物品評会・展示会が3年ぶりに開催されました。

秋晴れのもと、多くの来場者もあり、盛大に行うことができました。生産者にとって喜びと励ましの日となりました。

「むさし農」は第20号を迎えました。市民のみなさんと生産者との交流・情報の架け橋になるよう努力してまいります。末永いご愛読をお願いします。

## スマホで検索

農業委員会  
だよりは  
こちら↓



直売所  
マップは  
こちら↓



食を育む。  
むさしのは  
こちら↓

